

「水桜会だより」 2016 夏号

水桜会総会 報告

4 月 17 日(日)11 時 30 分~12 時 30 分、学習院大学西 213 教室で、30 名の OBOG の出席をいただいて開催。決算報告、予算案、会則変更案を原案通り承認いただいた。

会長、副会長は、作山正宏会長、金澤剛喜副会長、正野敬子副会長が留任。理事として新たに、橋場優氏 (S47 大)、瀧田哲也氏(H27 大)、柏木良太氏(H27 大)の就任が承認された。また、会則の変更として、本部、大学部部会、男子部部会、女子部部会を明文化した。その他、女子部総合体育館建設に伴い、水桜会としての寄附金 30 万円を予算に計上した。総会終了後、「懇親の集い」を引き続き行い、昔話に盛り上がりました。

9 月 4 日(日) 水泳部創部 80 周年記念事業として、五部対抗と記念懇親会を開催

10:00~14:00 大学プールで、男子部・女子部・大学の水泳部や、OBOG のご家族も参加する企画もあります。また、学習院には、縁の深い小堀流踏水術の紹介も予定しております。

15:00 開宴、学習院創立 100 周年記念会館で、記念懇親会を開催します。ゲストとして、中等科水泳部 OB の鷹司尚武様(伊勢神宮大宮司)、西田征史様(NHK とと姉ちゃん脚本家)をお招きいたします。創部 80 周年を記念しての楽しいひとときを予定しております。同封の案内状をご覧ください。万障お繰り合わせの上、ご参加下さい。

大学水球部門

2 月に日本水球リーグ(Japan Waterpolo League)が開幕しました。前回の水桜会だよりでもご紹介しましたが、今年から新規に始まった大会で 2 月から 8 月までの半年間に渡り試合が行われます。

しかし、リーグが開幕し数戦を重ねるも我々は全く勝つことが出来ず、それどころか基礎的な体力不足が露呈してしまいました。

そこで、この問題に立ち向かうために、3 月から大学プールで厳しい体力強化に取り組みました。4 月の半ばまでボールも触らずにスイムや巻き足強化を徹底的に行い、最終的にリーグ開幕前までに 200 キロメートルほど泳ぎ込みました。

ここまでして臨んだ関東学生リーグでしたが、4 ピリオドを泳ぎきる体力はあるものの中々勝利に結び付かず、ついに全敗で東工大との最終戦(7 位決定戦)を迎えました。最終戦はまさに息を飲む試合展開で、第 2 ピリオド終了時点では 2 点負けており、第 3 ピリオドで 7 対 7 の同点とし、第 4 ピリオドを迎えました。第 4 ピリオドも 1 点差の攻防が続いており、同点のまま試合も残り 1 分というところで、東工大がタイムアウトを取りました。タイムアウト後の再開は自陣からのディフェンスからとなるので、仮に相手の攻撃を防ぎきったとしても、次の攻撃に繋げるのは時間も体力も必要となります。

私はこの攻撃を守り切ったら、タイムアウトを取得し最後の 30 秒の攻撃に全てを賭けよう決めていました。相手の攻撃が失敗に終わり、タイムアウトホーンに手をかけたその時、

2年の松澤が抜けているのが見えました。松澤にボールが出たものの、そのすぐ背中には相手が迫っており、シュートまではいけないと思いました。このカウンター攻撃が失敗した時点でタイムアウトを取得しようと考えていた直後、松澤のシュートが相手ゴールに刺さりしました。残り時間数秒での決定的なゴールが決まり、11対10で最終戦を勝利で終えることができました。今年の2部7位という成績は決して良いとは言えませんが、1点差の試合を制するという貴重な経験はベンチや観客席で見ていた選手・スタッフにとって今後につながるものであると確信しております。

さて、今年もチャレンジインカレ（第4回）を9月10日（土）および11日（日）に学習院大学プール、成城大学プールにて開催いたします。事務局を務めるマネージャーの努力により今年も開催に至ることが出来ました。夏休みの練習でさらにパワーアップした成果が出ると思いますので、ぜひ応援をよろしくお願いいたします。

水球部門コーチ 森本龍児

大学競泳部門

8月6～8日に横浜国際プールで開催される「第89回関東学生選手権水泳競技会」（関東インカレ）に向け、監督以下コーチ・マネージャー・プレーヤーが一丸となって最大の目標である男子2部4位入賞を勝ち取るがために、女子は決勝進出得点獲得するために、練習に一段と身が入っています。

男子部門今年の見所はリレーです。上位校とそれ以外の力の差は否めません。リレーにおいても上位進出を狙うには戦力不足です。しかしながらその中で下位チームの実績などが均衡しているのでタッチの差であったり僅かな差でランキングが大きく変動するかもしれません。メドレーリレーはインカレ標準突破者3名が中心になって上位に食らいついていきます。800mフリーリレーは4名全員がベストタイムで2分切りをしています。

4部で戦っている頃個人種目ではトップ取れなくてもリレーでは俄然力がありました。常にチームワークで戦ってきたことが勝因でした。今回また生きてくるかもしれません。

女子部門は個人・チームとも上位は狙えないかもしれません。しかしながら全員が水泳が好きで楽しんでいることからプライベートベストやシーズンベストの大幅更新があることでしょう。皆活き活きとした顔で泳いでいます。見ている側も楽しくなってきます。

1年生のマネージャーが最近著しく成長しています。上級生の指導の賜物です。練習大会にはもちろん欠かせない存在です。彼女たちの仕事はタイム計測ではありません。ライバル校のデータ収集や分析といった影のチームの戦力となっています。すべての作業を迅速に丁寧にそして正確に行っています。

関東インカレ大会の見所はもう一つ。応援です。期間が短く伝統とまでは言えませんが、競泳部門の応援も楽しみに挙げられます。応援こそチームがひとつになった感があります。

OBOGの皆様方、関係各所の皆様方一度応援に来てみてください。

競泳部門コーチ 清水 学

男子部

高等科水泳部は6月4日に行われた筑波大学附属高等学校との定期対抗戦にて、133対

63 で見事勝利を収めることができました。また目標に掲げていた 2 つのリレー杯を勝ち取り、完全優勝を成し遂げることができました。今大会は、点差からも分かる通り学習院が大差をつけて制することができました。

中でも、200m 混泳では主将の平井(3)が貫禄の泳ぎを魅せ 2 分 13 秒 63 で、400m メドレーリレーでは影山(2)平井(3)渡辺大(3)松平(3)が泳ぎ、4 分 06 秒 13、100m バタフライでは渡辺(3)が 58 秒 63、800m フリーリレーでは平井(3)松平(3)藤田(3)渡辺大(3)が泳いで 8 分 13 秒 54 の計 4 種目での大会新記録を樹立しました。

また、200m 背泳ぎ、200m 混泳、100m 自由形、100 バタフライにて 1 から 3 位を独占し、快勝することができました。

この結果は 3 月 24 日から 28 日にかけて行われた合宿や日頃の練習成果を選手達が存分に発揮した結果かと思えます。もちろん応援に来ていただいた OB の皆様や保護者の方々のお力あっての結果だと心得ております。

来年度以降もこの成績に甘んじることなく努力して参りますので、引き続き水桜会の皆様の変わらぬご支援をよろしくお願い致します。

高等科コーチ 中内 弘

女子部

平成 28 年度 6 月の試合期は、6 月 4 日(土)の高等科附属戦から始まりました。

選手の直前のけがなどアクシデントがありましたが、それをおしての出場といった勝利への執念が皆に伝わり、109 対 88 で勝利。リレー杯二つも奪還しました。好発進した高等科は 6 月 11、12 日の春季大会、25、26 日の都高校に出場。フォーム改造や、関東大会、インターハイ出場など、各人が高い目標を掲げ挑みました。成果の出た者、残念ながら目標に届かなかった者、悲喜交々でしたが、それぞれが気持ちを入れ替え次の大会へ新たな挑戦を始めております。春季大会と同日 11 日に開催されたシカ東京都高校選手権には、附属戦にも出場した高一の石島瞳子が出場。堂々とした演技を披露しました。

新中一 10 名を迎え総勢 31 名となった中等科は、6 月 18、19 日の総体に、標準記録を突破する中一 3 名と共に出場。7 月の都中学出場を狙う部員も多く、高い意識でレースに臨みました。レース待機中のコミュニケーションや応援も学年を超え活発で、そのムードは練習にも繋がっており、以降の試合が非常に楽しみです。

高等科は附属戦後に新三役へ部を引き継ぎ、部長 小林万祐、副部長 富田安咲、マネージャー 桑島華子、陸マネ 梅園真規子の新体制で始動しております。

本年 3 月に八名先生がご退官されました。水泳部顧問として試合の引率などの他、特に校内合宿時に多くのご指導を賜りました。改めまして御礼申し上げます。

ありがとうございました。

女子部コーチ 時谷一滋

女子中等科・高等科 総合体育館建設計画について

かねてからご報告いたしておりました、女子部総合体育館建設について、ようやく工事が進みはじめ現在基礎工事に着手している状況です。

水桜会から、30万円の寄付を頂戴し大変感謝いたしております。
また、女子部水泳部 OG で別途寄付募集をすることとなり、今回の水桜会便りにお願いの文面を同封させていただいています。

新しい施設で、現役に限らず OB・OG が水しぶきをあげられる日を期待しております。

水桜会女子部 部長 渡邊マリ

訃報 小島宣夫先輩（昭和 24 年(1949 年)旧制高等科卒業）を偲んで

水桜会会長として長年、水泳部のためにご尽力くださった小島先輩のご逝去を知り悲しみに堪えません。

陸軍経理学校から復員して昭和 21 年高等科に入学され、陸海軍復員組と一緒に、軍学校での訓練とは違って、自由と平和を満喫しながら毎日元気に練習に励んでおられました。「昭和 22、23 年のインカレ水球リーグ戦では、競泳はサッパリだったが、水球になると途端に元気になる小島宣夫は、敵ゴール前に頑張り、時に目の覚めるような華麗なテクニックで、コーナーにボールを叩き込む名フオワードだった。」という同期の長昭連先輩の思い出（創部 50 周年記念文集より）が現役時代の小島さんを如実に語っているように思いますので、ここに紹介しておきましょう。

学習院ご卒業後の東大水泳部、社会人となられてからも目白に現れては、コーチとして監督として、新制高等科～大学水泳部の我々世代を熱心に指導してくださいました。戦前からの競泳練習を踏襲している我々に対して、東大での腕の使い方やサマーソルト・ターン（とんぼ返り）を教えて下さり、昭和 24 年には甲子園の全国インターハイ水球へ連れて行って下さったこと、又、大学現役を主体に OB の小島さん一人が加わっているオール学習院チームで大阪での水球全日本選手権に出場したこと等は忘れることが出来ません。

慶応大学が、日吉の大プールにガスによる昇温装置を設置したとの情報を入手した小島さんは、大学プールにも設置することを決断され、大学当局との折衝や寄付金集めに持ち前のリーダーシップを発揮して推進して下さいました。

ここ一兩年私の往信に対してご回報のないことが時々ありました。筆が立つ小島さんにしてはと思いながらご無沙汰を続けていましたところ、今年 2 月 12 日付産経新聞に、4 日肺炎のため死去、87 歳、との記事が載りました。長年のご高誼に対して深謝申しあげますとともに、慎んでみ霊の平安をお祈り申しあげます。

渡辺正直（昭和 29 年大学卒業）

水桜会情報は、桜友会 HP にも掲載されております。

桜友会事務局のご配慮で、「水桜会だより」「大学現役レポート」と「総会議事録」が掲載されております。桜友会 HP⇒(左下の) 輔仁会 OBOG 会⇒運動部⇒水桜会で、開けます。

また、桜友会では、「メールマガジンご購読のご案内」をいたしております。

桜友会の最新情報がご購読できますので、どうぞ、HP 内からお申込みください。

以 上